

2次元CADシステム

ANDES ProWinII 2014

改良機能紹介

目次

基本機能	1
1. 要素検索の改良	2
要素検索の UNDO / REDO 対応	2
範囲検索のクロス指定対応	2
2. 外部ファイル変換の機能改良	3
PDF 変換の改良	3
DXF / DWG 変換の改良	3
JWW 変換の改良	4
3. フィールド機能の改良	5
領域指定入力への対応	5
シンボル、イメージボックスの追加	6
日付書式の“曜日”対応	7
日付書式の計算式対応	8
4. 領域データの編集強化	9
5. レイヤ関係の改良	10
レイヤ結合機能の追加	10
新サイドバー『レイヤバー』の提供	11
参照図モードでの画面操作に対応	12
レイヤシート一括属性設定機能	13
7. イメージ関係の改良	14
左右回転、反転機能の追加	14
プレビュー上での画面操作に対応	14
8. 顧客 MasterPro との連携	15
9. その他	16
印刷設定での線幅一括変更の機能追加	16
スキャナ選択コマンドの追加	16
図面情報での日本語制御対応	17

基本機能

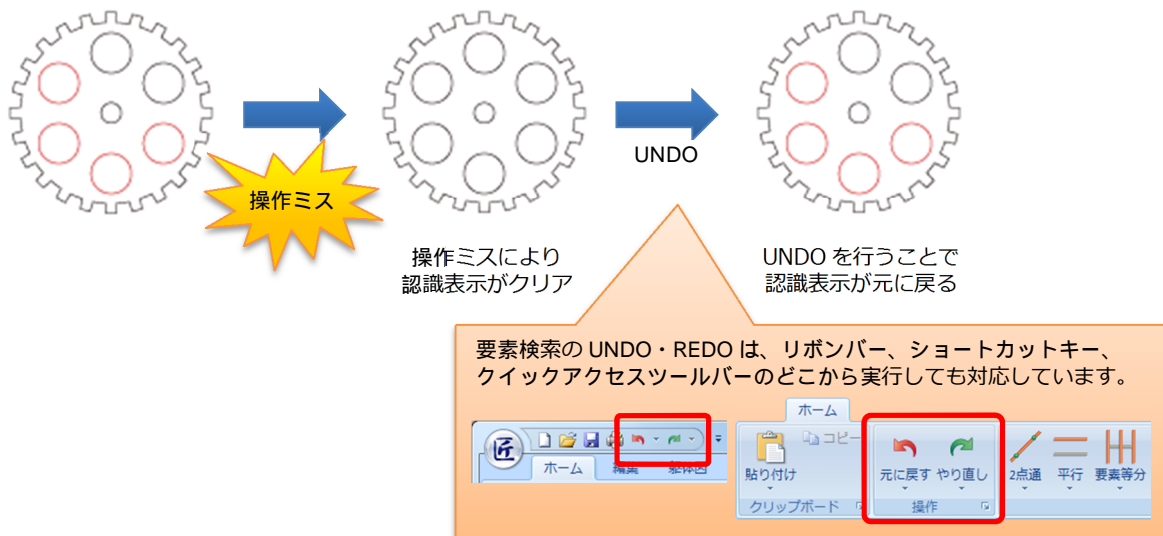
1. 要素検索の改良

要素検索の UNDO / REDO 対応

従来の作図・編集に対しての UNDO / REDO 機能を、要素検索にも対応させました。

連続での要素検索中に操作ミスが発生した場合、認識している状態がすべてクリアされ、再度要素を検索しなおさなければなりません。今回の対応によって、簡単に認識状態を元に戻すことができ、要素検索を利用した編集などの作業効率が大幅にアップします。

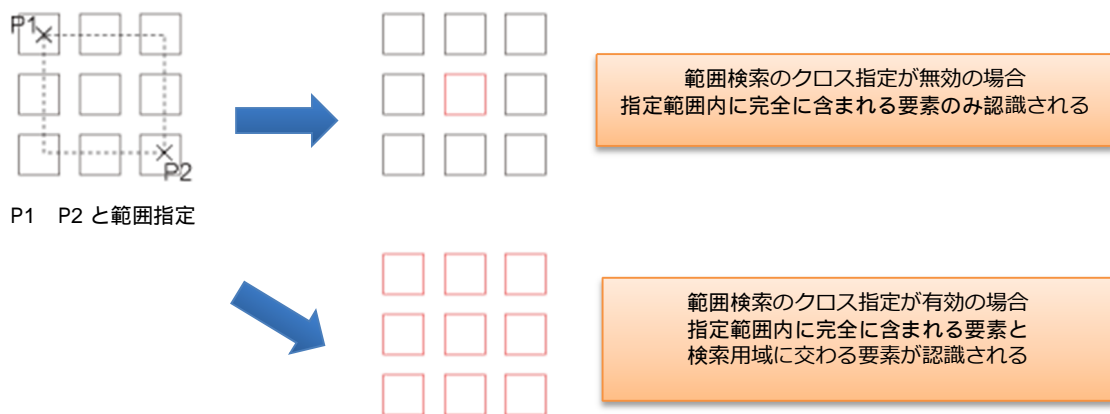
要素検索の UNDO / REDO は、通常のコマンドアイコンまたはショートカットキー (CTRL + Z・CTRL + Y) を使って、要素の認識状態を元に戻すことができます。



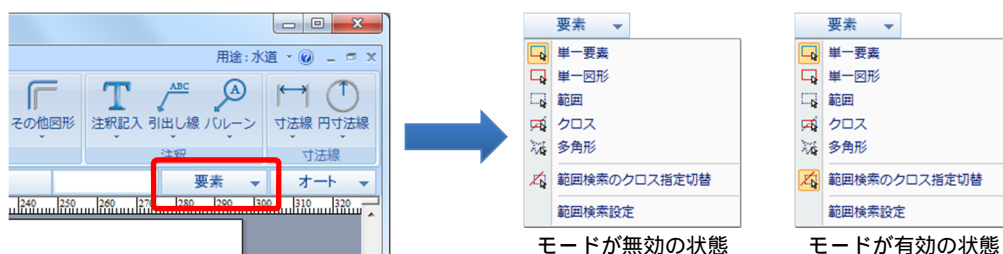
範囲検索のクロス指定対応

範囲検索時に検索領域と交わる要素を認識するモードを追加しました。

対象となる要素は、線分、円・円弧、作図線、作図円です。



設定は、要素検索モードのメニュー内で【範囲検索のクロス指定切替】を選択して、有効・無効を切り替えることができます。作図状況に応じて、簡単にモードを切り替えることができます。



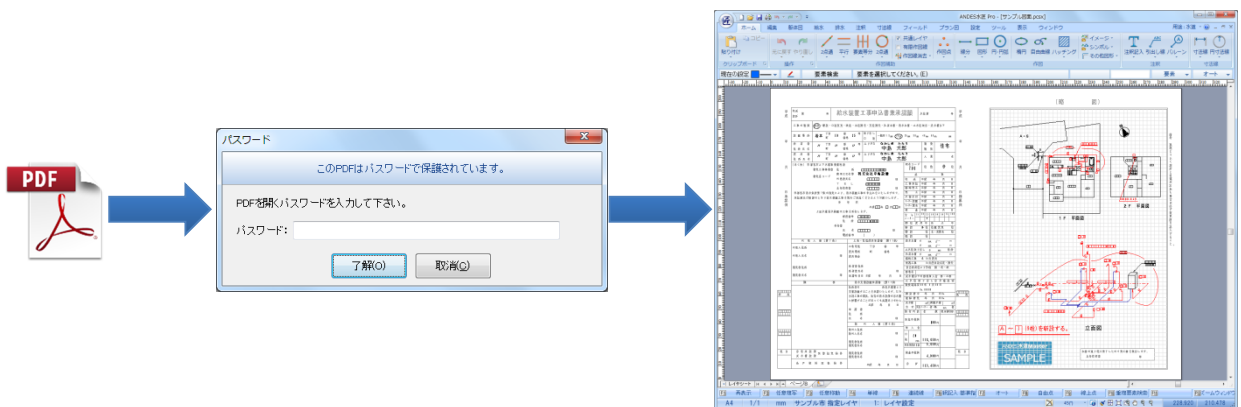
2. 外部ファイル変換の機能改良

PDF 変換の改良

これまで読込むことができなかった形式（パスワード付き PDF ファイル、JBIG2 の画像圧縮形式）に対応しました。

パスワード付 PDF ファイルの読み込み

これまで、パスワード付き PDF ファイルは「暗号化されている PDF 文書」として、読込むことができませんでした。ANDES 水匠 2014 では、ファイルに設定されているパスワードを正しく入力することで、PDF ファイルを開くことができるようになりました。



印刷やコピーの制限など部分的な機能をパスワードで保護されている PDF ファイルに関しては、著作権の問題で、読み込みに対応していません。

JBIG2 の画像圧縮形式への対応

画像圧縮形式“JBIG2”を使用したイメージデータを含む PDF ファイルの読み込みに対応しました。

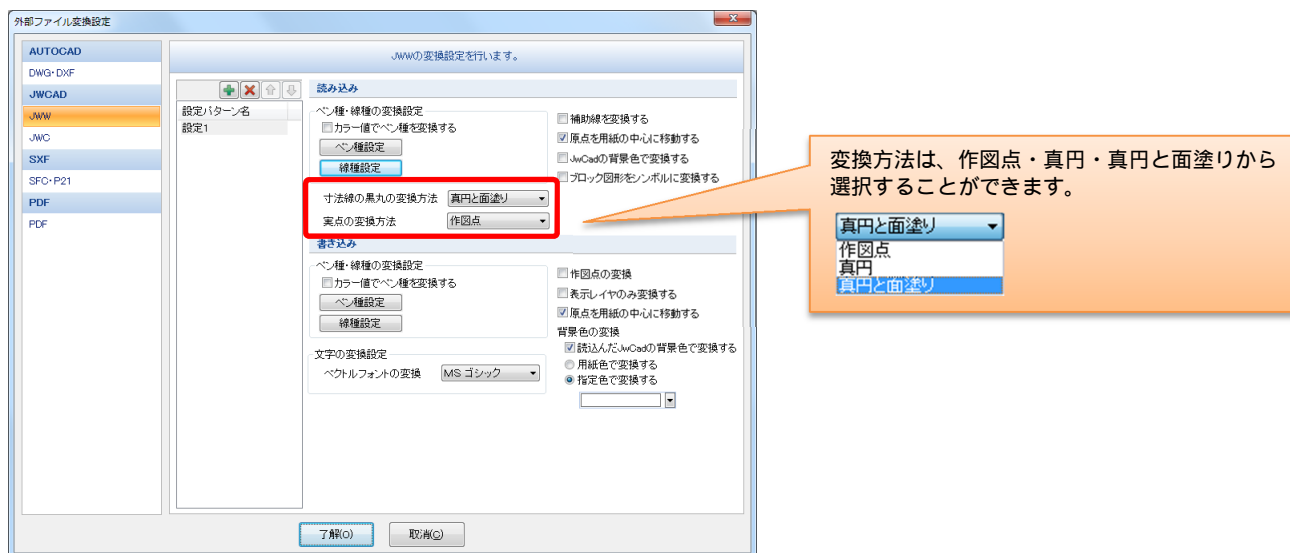
DXF / DWG 変換の改良

AutoCAD2013 / 2014 / 2015 の DXF・DWG ファイルの保存 / 復元に対応しました。

JWW 変換の改良

JWW ファイルを読み込む際、寸法線の矢印の黒丸や実点の変換方法を指定できるようになりました。これまで、実点を必ず作図点に変換していたため、実点を印刷することができませんでした。ANDES 水匠 2014 より、実点の変換方法を選択することができるため、印刷の有無を考慮して実点を変換することができます。

変換方法は、あらかじめ【外部ファイル変換設定】で選択しておきます。

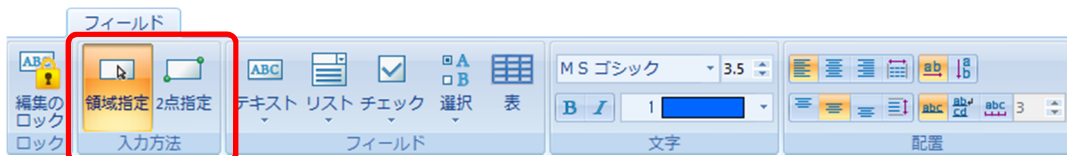


真円の半径は、JWW ファイルに保持されている「印刷時の実点の半径」を使用して変換を行います。設定は、JWCAD で JWW ファイルを開いて、【設定メニュー / 基本設定】で確認してください。

3. フィールド機能の改良

領域指定入力への対応

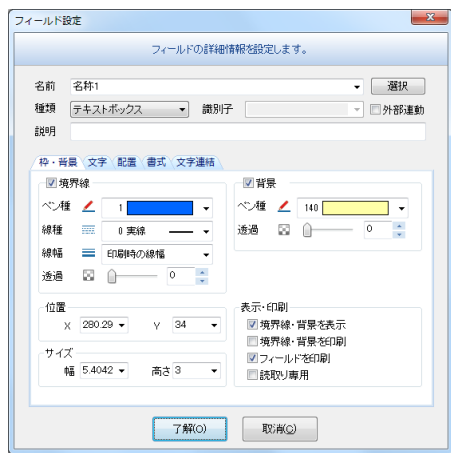
フィールドの作成方法に 領域指定 のモードを追加しました。
 フィールドの作成したい矩形領域内をクリックすることで、その矩形を自動判定しフィールドを作成します。
 これにより、既に記入されている表から簡単に領域を指定することができるため、材料集計の帳票などの作成
 時間がかなり削減されます。対象となる要素は、線分のみとなります。



領域指定.....矩形枠内をクリックしてフィールド枠を作成します。
 2点指定.....対角2点を指定してフィールド枠を作成します。

材料内訳書		
名称	形状・寸法	数量
P1x		

フィールドを作成したい矩形内(P1)をクリック



材料内訳書		
名称	形状・寸法	数量
P1x		

矩形領域を自動判定しフィールドが作成される

角度が付いている矩形は、クリック時にエラーとなり作成することができません。

材料内訳書		
名称	形状・寸法	数量
P1x		

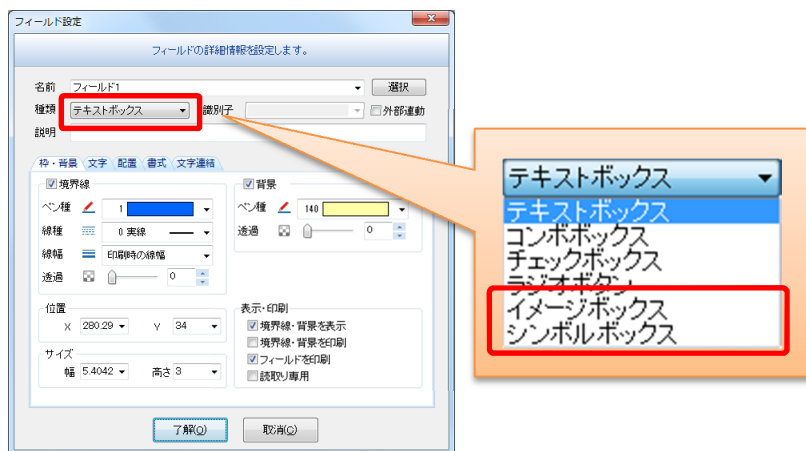
角度が付いた矩形内をクリック



シンボル、イメージボックスの追加

フィールドの種類に、“シンボルボックス”と“イメージボックス”を追加しました。これにより、シンボルやイメージを図面上の指定領域に簡単に配置することができます。

写真台帳や器具表などに活用することができます。

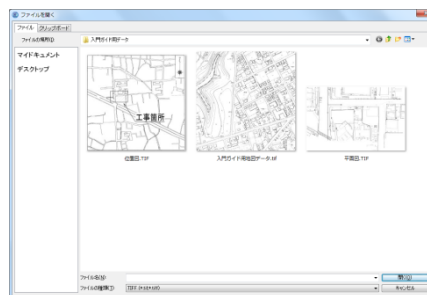


イメージボックス



イメージが未選択の場合
フィールド中央にアイコンが表示される

フィールド内を
ダブルクリック



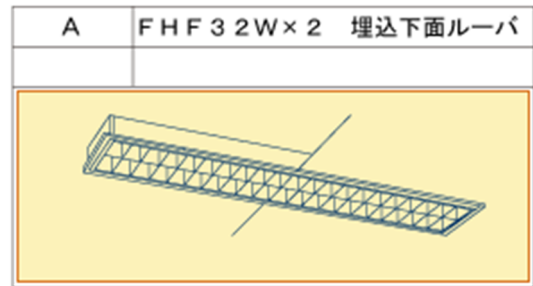
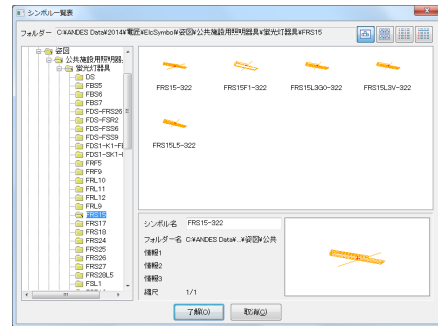
フィールド内にイメージが表示される

シンボルボックス



シンボルが未選択の場合
フィールド中央にアイコンが表示される

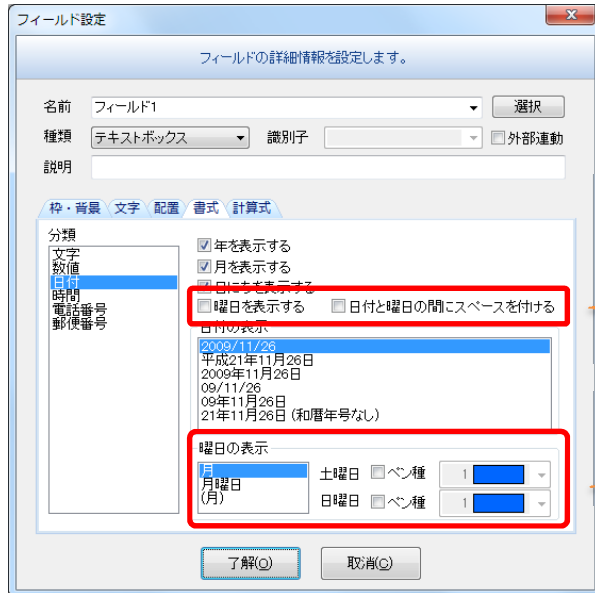
フィールド内を
ダブルクリック



フィールド内にイメージが表示される

日付書式の“曜日”対応

テキストボックスの日付書式に、曜日の項目を追加しました。
土曜日および日曜日の場合は、ペン種を別に指定することができます。



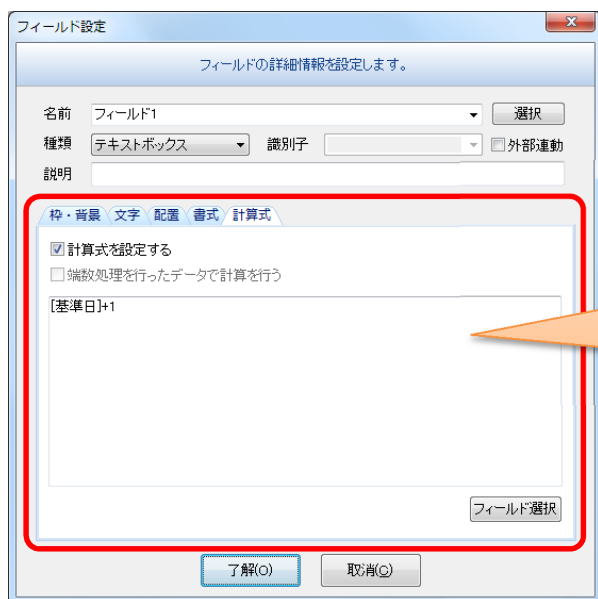
“ 曜日を表示する ” にチェックを入れることで、入力した日付に応じた曜日が表示されます。
日付と曜日の間に半角スペースを入れることもできます。

曜日の表示方法と、土曜日・日曜日の場合のペン種を設定することができます。

入力日	表示例
2014/6/27	2014/6/27 (金)
	2014年6月27日 金曜日
	平成 26 年 6 月 27 日 (金)
2014/6/28	2014/6/28 (土)
	2014年6月28日 土曜日
	平成 26 年 6 月 28 日 (土)
2014/6/29	2014/6/29 (日)
	2014年6月29日 日曜日
	平成 26 年 6 月 29 日 (日)

日付書式の計算式対応

日付書式のフィールドを、計算式に対応しました。基準となる日のフィールドを変更することで、他の日付を一括で変更することができます。計算式には、基準となる日付に対して、日数、週数、月数、年数で指定することができます。



[計算式] タブで、基準となる日のフィールドに対する計算式を設定することができます。

日数 [基準日フィールド名] +1
 週数 [基準日フィールド名] +1W
 月数 [基準日フィールド名] +1M
 年数 [基準日フィールド名] +1Y

	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27	6/28	6/29
	月	火	水	木	金	土	日

「6/23」のフィールドを基準日として、「6/24～6/29」のフィールドに計算式を設定

↓ 「6/23」を「6/30」に変更

	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6
	月	火	水	木	金	土	日

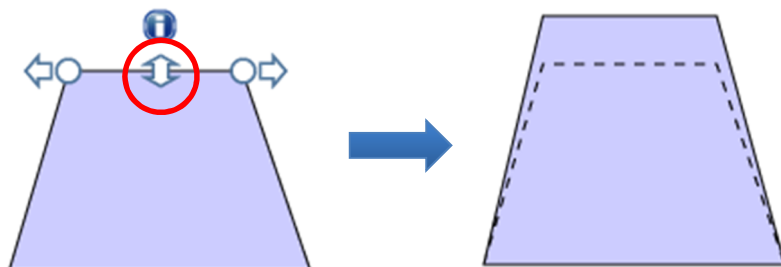
自動的に関連するフィールドを計算して、更新を行う

4. 領域データの編集強化

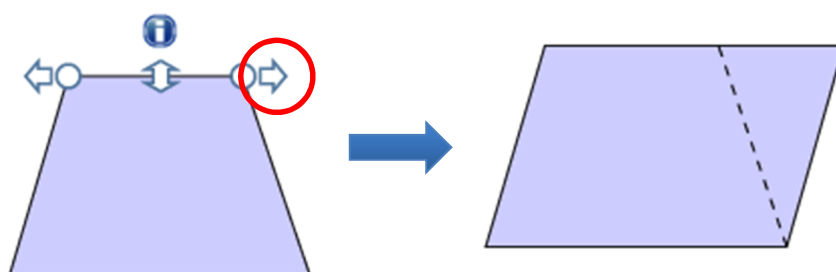
面塗り、ハッチング、テクスチャの領域をハンドルポイントで、編集できるようになりました。

ハンドルポイントには、頂点の移動および平行移動があります。

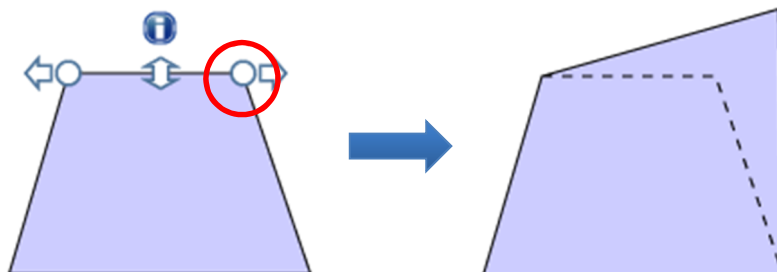
平行移動



端点延長



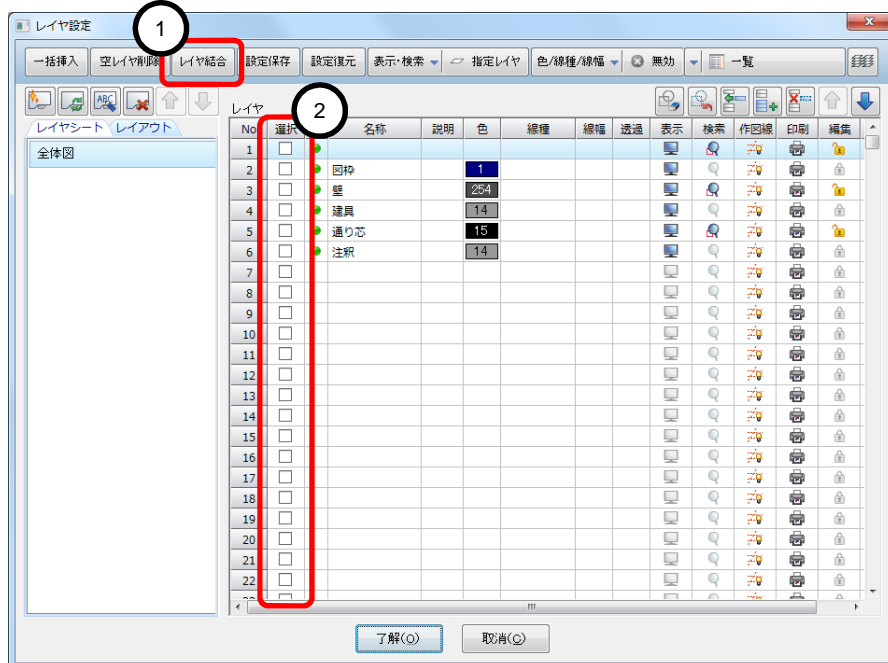
頂点移動



5. レイヤ関係の改良

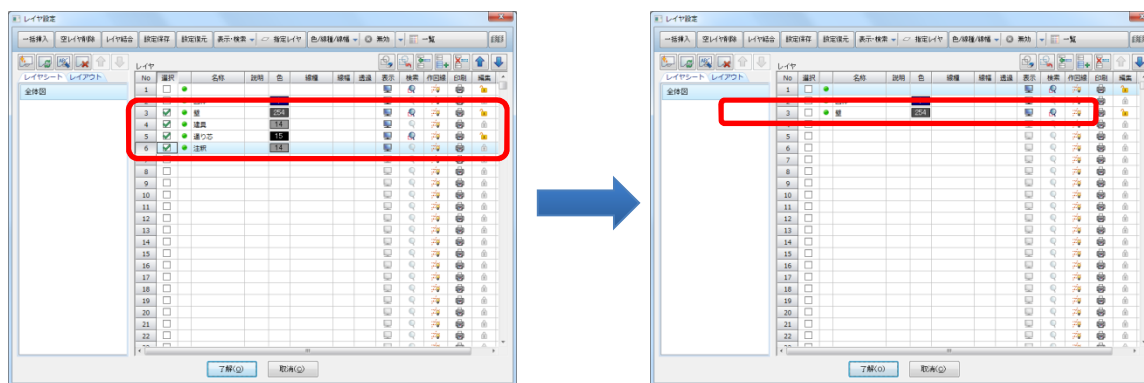
レイヤ結合機能の追加

『レイヤ設定』ダイアログに、レイヤ結合()のボタンを追加しました。レイヤー一覧の選択チェック欄()で、結合したいレイヤにチェックを入れ、レイヤ結合()のボタンをクリックすることで、選択したレイヤを一括で結合することができます。



結合は、選択したレイヤの中で、先頭となるレイヤに対して行われます。

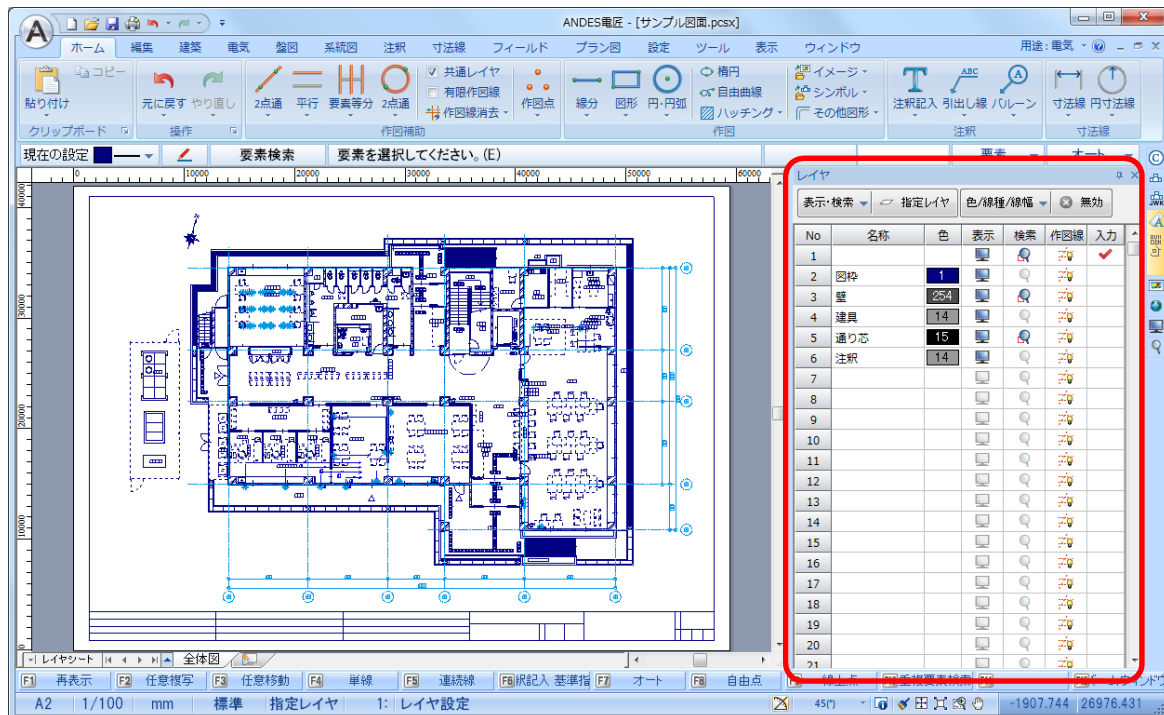
例) 3番~5番のレイヤを選択した場合、3番のレイヤに結合します。



また、一覧モードだけでなく、参照図モードでも、同様の操作でレイヤ結合を行うことができます。

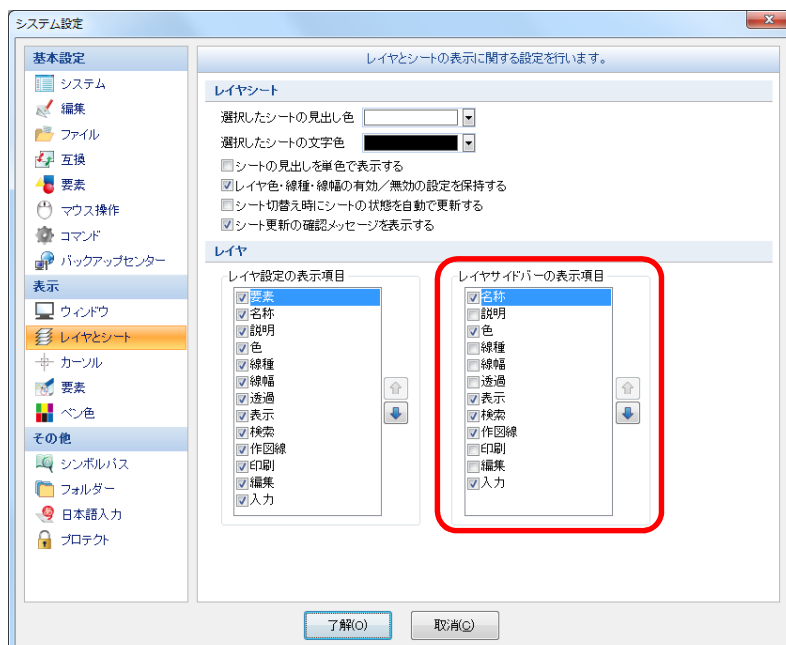
新サイドバー『レイヤバー』の提供

サイドバーに新たに「レイヤバー」を追加しました。



これまでは、『レイヤ設定』ダイアログ上という限られた画面内ですが、レイヤの確認や編集を行うことができませんでした。「レイヤバー」を用いることで、作図を行いながらレイヤの状態を確認したり、レイヤの編集を行うことが可能になりました。

「レイヤバー」に表示される項目は、レイヤ設定ダイアログと同様に、システム設定ダイアログの【表示/レイヤとシート】で設定することができます。

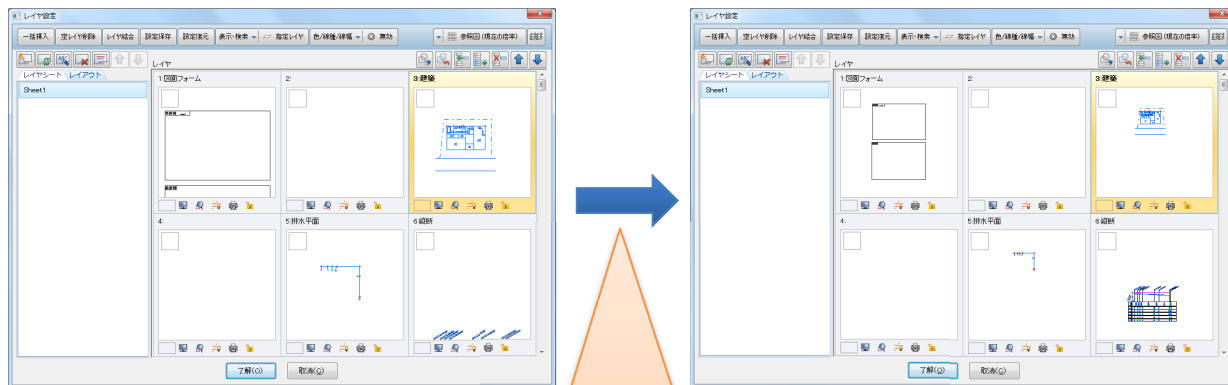


参照図モードでの画面操作に対応

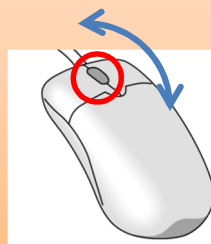
『レイヤ設定』ダイアログを参照図モードで利用している場合、図面のプレビュー上でのマウス操作に対応しました。作業ウィンドウ上と同様に、マウススクロールによる拡大・縮小や、スクロールボタンをクリックした状態での画面移動を行うことができます。

これによって、『レイヤ設定』ダイアログを起動した状態でも、各レイヤの要素を確認しながら、レイヤの各種操作を行うことができるようになりました。

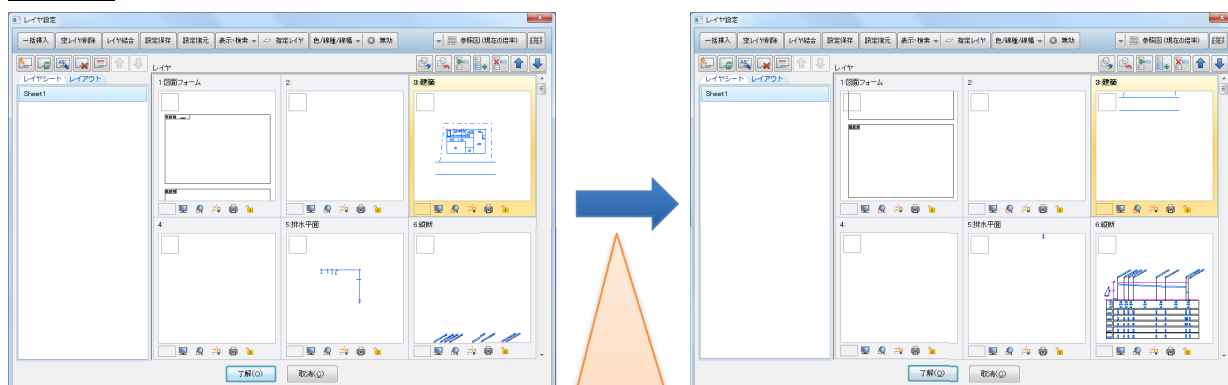
拡大・縮小



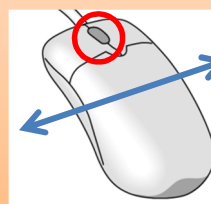
マウスのスクロールボタンを回すことで、プレビューの拡大縮小が可能



画面移動

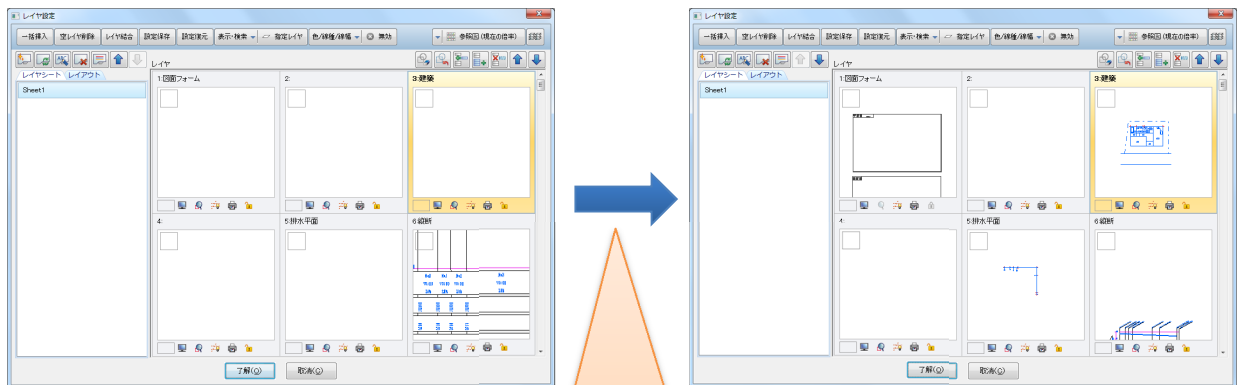


マウスのスクロールボタンをクリックした状態でマウスを動かすことで、プレビュー内の画面移動が可能

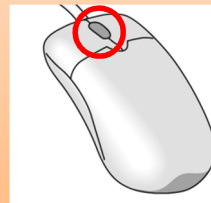


表示状態のリセット

プレビュー内で画面移動、拡大・縮小の画面操作を行った後、マウスのスクロールボタンをダブルクリックすることで表示状態がリセットされます。『レイヤ設定』ダイアログを起動したときの初期状態に戻すことができます。

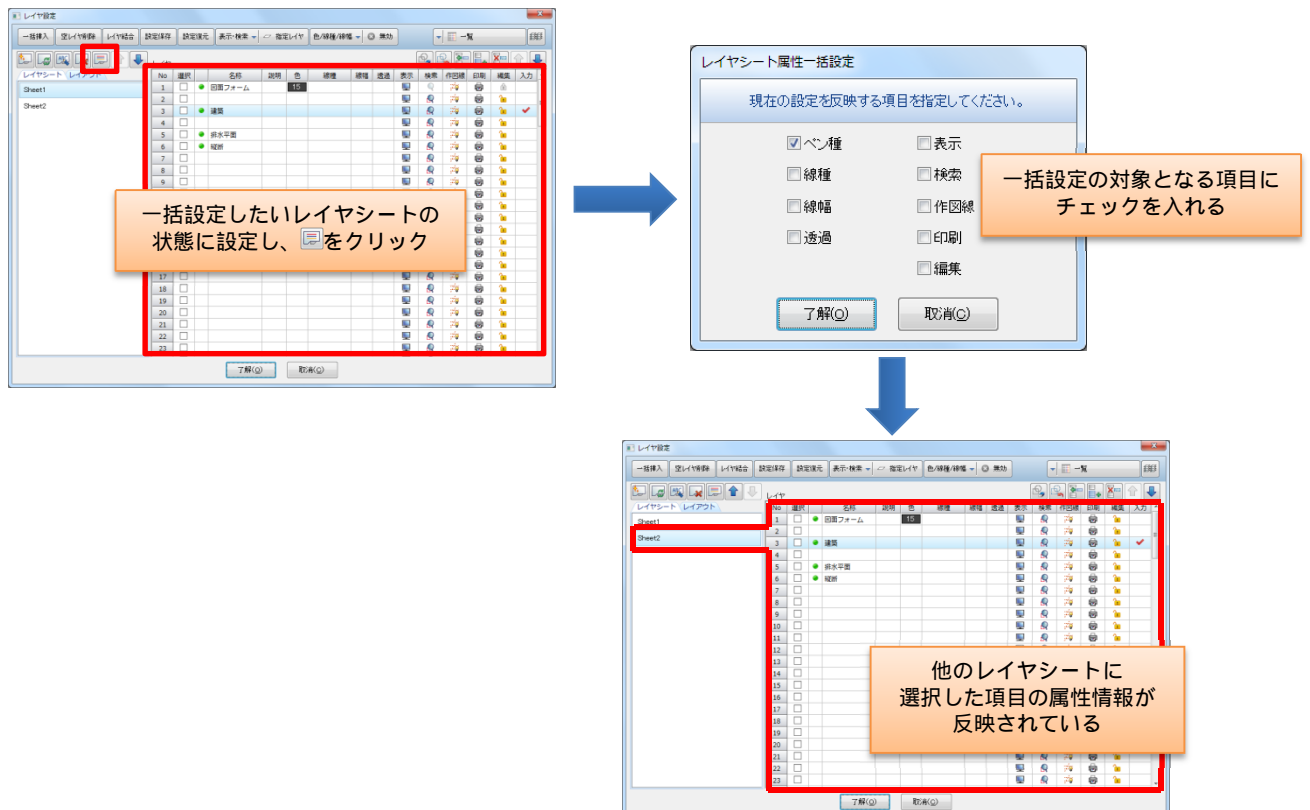


マウスのスクロールボタンをダブルクリックすることで、プレビュー内の表示を初期状態に戻すことが可能



レイヤシート一括属性設定機能

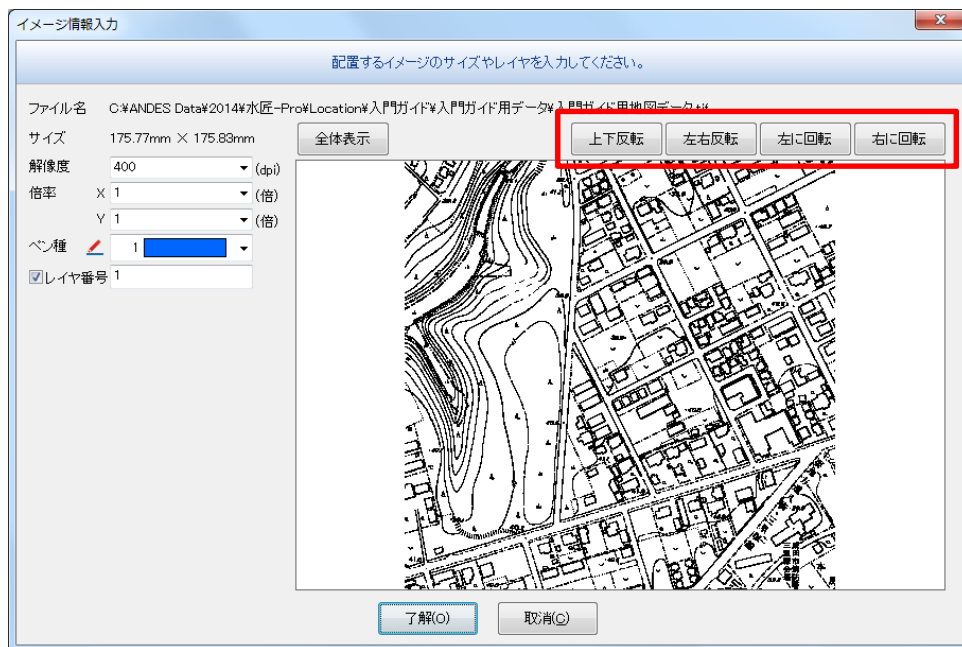
レイヤシートのペン種・線種などの属性情報を、他のレイヤシートへ一括で設定できる機能を追加しました。



7. イメージ関係の改良

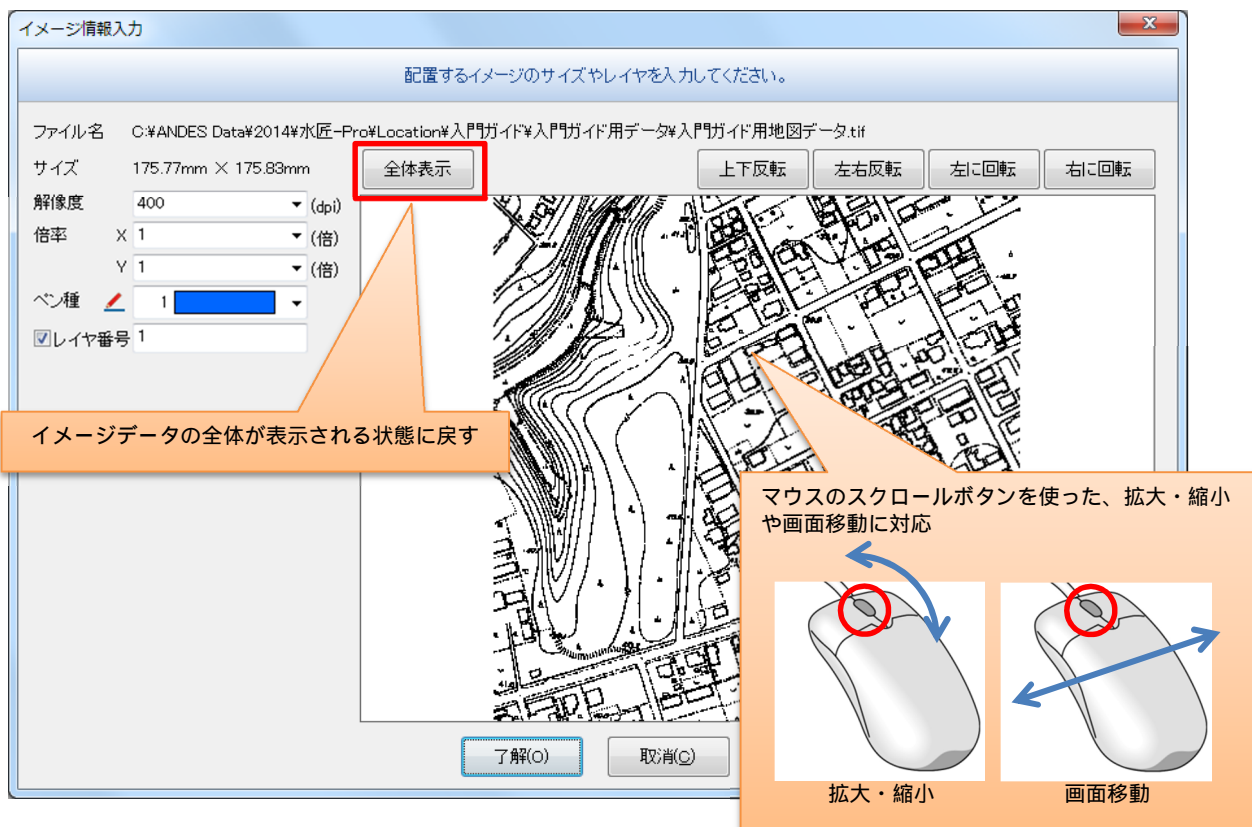
左右回転、反転機能の追加

『イメージ情報入力』ダイアログボックス上で、イメージデータの左右 90° 回転および左右、上下反転に対応しました。スキャナで取り込む方向を意識することなく、またイメージ配置後の編集作業を軽減することができます。



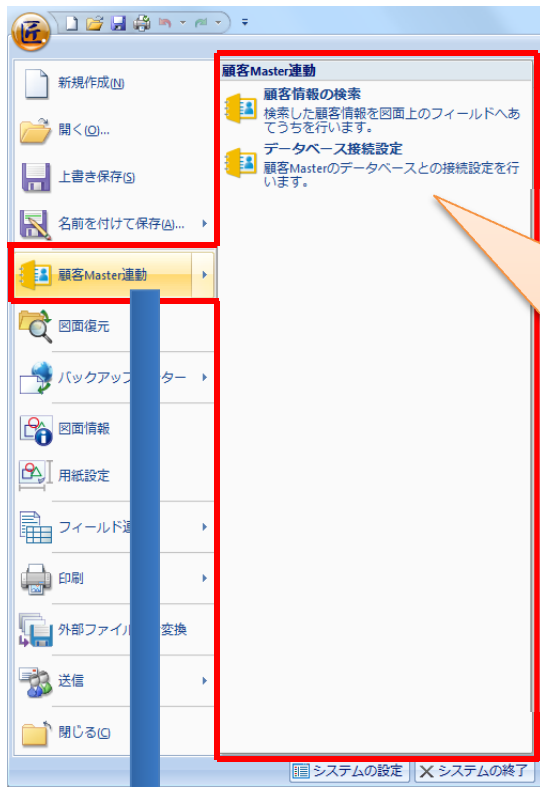
プレビュー上での画面操作に対応

『イメージ情報入力』ダイアログボックス上での、拡大・縮小、画面移動の画面操作に対応しました。プレビュー表示枠内で、スクロールボタンで操作すると画面操作を行うことができます。

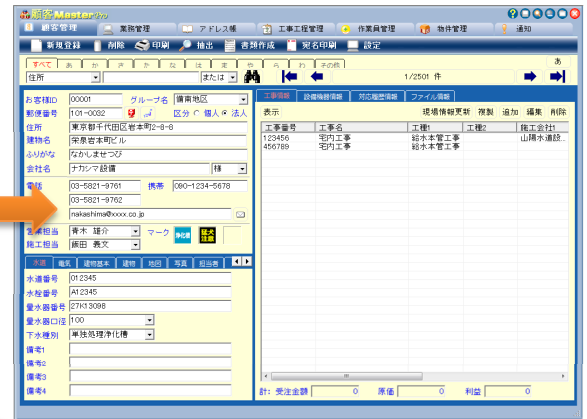
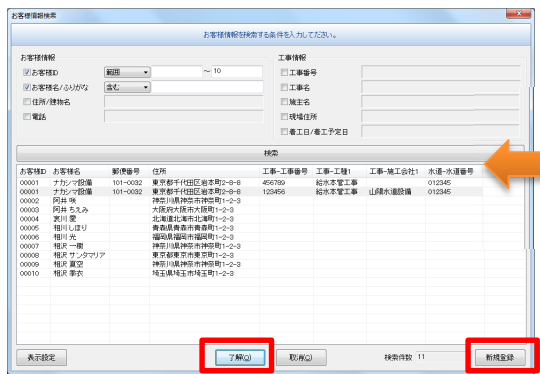


8 . 顧客 MasterPro との連携

顧客 MasterPro で登録されている顧客情報を検索し、図面上のフィールドに当て字する機能を追加しました。



【システム設定】の[基本設定 / 要素]で、“顧客 Master の情報をフィールドへあてうちを行う”にチェックを入れた場合、連携専用のメニューが匠ボタンに表示されます。



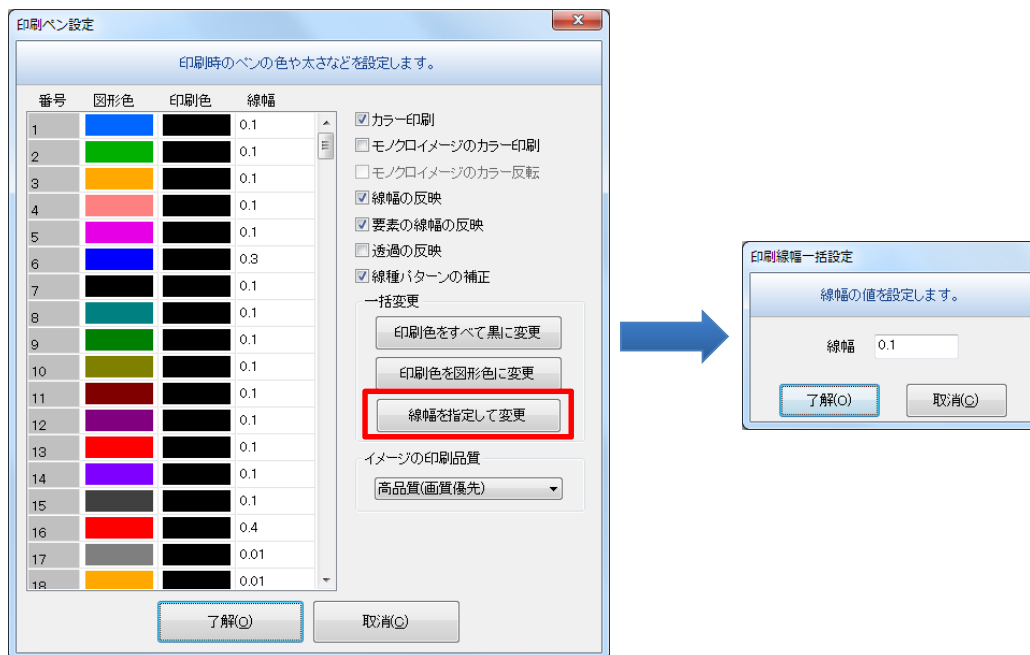
図面上のフィールドへ選択した顧客の情報があてうちされます。

顧客 Master に登録されていない顧客情報が必要になって場合は、「顧客の新規登録」「フィールドへあてうち」を行うこともできます。わざわざ、顧客 Master のシステムを起動する必要はありません。

9. その他

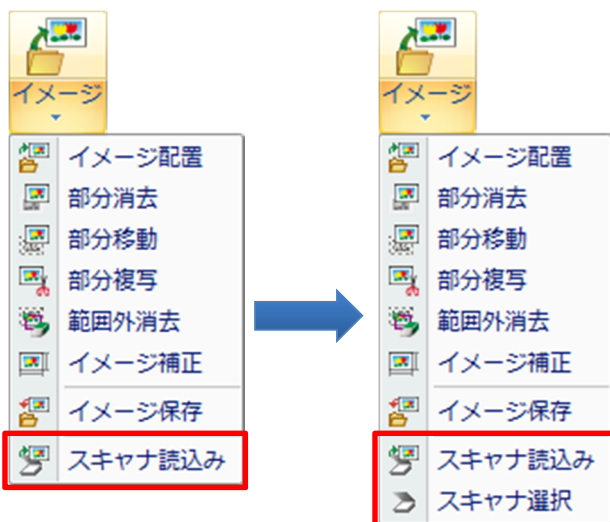
印刷設定での線幅一括変更の機能追加

印刷設定で、線幅を一括で変更できる機能を追加しました。



スキャナ選択コマンドの追加

【スキャナ読み込み】コマンドから、読み込むスキャナを選択する機能を取り除き、別コマンドとして動作するようになりました。



図面情報での日本語制御対応

『図面情報』ダイアログボックスで図面情報を入力する際、日本語入力の自動切り替えが行えるようになりました。設定は、システム設定の日本語入力で行います。

